

現場実習・校内実習終了しました！！ ご支援ありがとうございました。



現場実習・校内実習の様子

6月18日より、ふれあいジョブに引き続き行った現場実習・校内実習が終了いたしました。ご家族の皆様からは、用具の準備や昼食、送迎、家庭生活での支援や励ましなどありがとうございました。

現場でしっかりと挨拶をする姿や任された業務に集中する姿、目を追うごとに任された業務の精度が上がる姿など成長する姿が多く見られました。今年は早い段階から気温の上昇があり、暑い中での実習でした。過酷な状況の中でも一生懸命に取り組んでくれました。

学校に戻ってきた生徒たちの自信をもって挨拶する姿やきびきびと行動できるようになっている姿などを、頼もしく感じるこの頃です。できたことを毎日の学校生活で続けて欲しいと思います。

今回の実習で課題として見てきたことですが、「生活サイクルをいかに安定させるか」、「強い気持ちをもって行動できるか」ということが大切に感じました。例年の様子と異なるように感じます。

生徒からの聞き取りの中から…、

- 「生活サイクルを安定させる」ことの必要性について生徒との話から(現状)。
 - ・夜遅くまでのスマートフォンアプリ(LINE・ゲーム等)の使用や通話、動画視聴により遅くまで起きている。
 - ・決まった時間に起きられない。
 - ・疲労に合わせて、睡眠時間や食事をしっかりと確保できなかった。
 - ・出発時刻が定着していない、身だしなみを整えることが間に合わない、持ち物の準備に時間がかかる等で、定時の出発ができない。
 - ・休日に遊びすぎて、勤務に影響している(遅刻、仕事が進まない)



等々。

- 「強い気持ちをもって行動する」ことについて生徒との話から(現状)。
 - ・現場に対して不安があることで、現場に行けない。
 - ・外気の暑さ、現場の温度の激変で体力が奪われ、気弱になる。
 - ・長期にわたる実習で疲れが抜けず、前向きになれない。
 - ・指導されたこと(教えてもらったこと)を受け止めきれない(不快やストレスに感じる)。
 - ・楽しいこと、やりたいことを優先させ、任された業務を行えない。

等々。

現場実習は、「家庭から現場へ」という卒業後の生活に直結した学習となります。その分個人に任される判断や行動が多くなります。自分のやりたいことよりも何を優先させるべきなのかを考え「生活サイクルを安定させる」ことを考える。不安感やストレスに対してや蓄積された疲れに対して「強い気持ちをもって行動する」ということを実現し、卒業後の社会生活の継続や安定につなげられたらと思います。

そのためには、これからの生活の中で、とにかく毎日学校に登校し、色々な活動にチャレンジしていく、できるようになったことを続けて取り組む、自分でできることを増やすことが必要になるかと思えます。

今回の実習で得た経験知(経験を通して得た知識)があります。良いことも悪いこともしっかり生かしてほしいと思います。



1年生の進路校外学習に同行して

先日、1年生の進路校外学習に同行しました。実際に見学して、職場の雰囲気や取り組んでいる内容を肌で感じてきました。見学したのは企業1社、就労移行支援と就労継続支援B型を行っている1事業所、就労継続B型と生活介護を行っている1事業所の計3事業所でした。

今回は特に働く上で大切なことを学ぶことを重点としていました。

事業所の皆さんから伺ったお話をまとめてみました。



A事業所より

時間を守る(準備をする)
ルールを守る
身なり(身だしなみ)
挨拶
生活リズム
食事(何でも食べる)

N事業所より

大きな声の
挨拶、返事
休まないこと

K事業所より

仕事に対する意欲
自分の障がいの得意・不得意、
自信をもっている
挨拶(これは新入社員は同様)
分からないことを質問する
時間を守る
私語をしない
業務の指示(業務内容ややり方)に従う

どこの事業所でも、「〇〇を何個できないと働けません」とか、「◇◇の技術がないと受け入れられません」ということは、お話ではありませんでした。

職業生活を行う上での意欲や態度、行動力や本人の意識に関わるものばかりでした。

卒業生においても、挨拶やルール、仕事の出来具合について、指導や注意をされるのを嫌がり、不安になって行き渋る事例もあります。そのときに「仕事だからがんばらなきゃ！」と意欲をもって取り組む人は、学校生活において様々なチャレンジを行い、自分の苦手なところと向き合い、不安やストレスを乗り越えようとしてがんばっていた人々です。そのような人は、卒業後の生活でステップアップをしたり、信頼されたりしながら安定した職場生活を送っています。

卒業後の生活で求められる内容(態度や意欲等)を把握し、今から毎日の学校生活の中で一生涯命に取り組んでいただければと思います。

進路実現に向けて

現場実習が終わり、実習先から評価をいただいています。今後現場での評価を踏まえ、学校や家庭での取組を考えていく必要があります。また実習報告会ではお互いの実習について、成果や課題を考える機会となりました。現場での評価を振り返り、今後の生活に生かしましょう。



3年生については進路に直結する内容でもあります。必要に応じて夏休み期間中に面談等を実施させていただきます。お手数をおかけますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



川西高等特別支援学校 進路教室のご案内

2学期は下記の2回を予定しています。実習の様子や卒業生の生活の様子、福祉のサービス・手当・制度について取り上げて行く予定です。「本当に必要な支援は何だろう」など、考える機会になればと思います。

多くの皆様から参加していただきたいと思います。またテーマにかかわらず普段から疑問な点があれば、聞かせていただけると幸いです。皆様からのご意見をお待ちしています。

期 日	予定する内容
9月21日 (金)	・実習の様子(前期実習を振り返る) ・福祉サービスについて
10月18日 (木)	・福祉手当や制度 ～卒業後の生活・手帳の取得と更新・制度の活用～

<時間・場所> 13:30～ 3F 図書室

※会場(教室)を変更する場合は、当日玄関にてお知らせいたします。

PTA進路研修のご案内 <再掲>

<テーマ> 「スマホ・ケータイ安全教室」
NTTDoCoMoより講師をお招きいたします。

<場所> 川西高等特別支援学校 図書室

<日時> 8月8日(水) 10:45～12:15

(受付10:30～)

全体講義(個人情報公開 課金アプリのリスク) 10:45～11:45<第1部>

保護者情報交換 11:45～12:15<第2部>

※第1部では、生徒も一緒に受講します。第2部では、保護者の情報交換を予定しています。

※当日9時から、性に関する講演会も予定されています。

不明な点があれば、いつでもお問い合わせください。

新潟県立川西高等特別支援学校 進路指導部

TEL 025-768-3325 FAX 025-768-4567

担当: 細井哲明 斎木秀夫 木嶋智子 川井紀子 黒木果佳

